

日本港湾空港建設協会連合会セミナー

港湾事業の動向学ぶ

日本港湾空港建設協会連合会(川嶋康宏会長、東京都)は16日、鹿児島市の城山観光ホテルで「第59回日港連セミナー」を開いた。参加者は、近年の港湾整備の動向や入札・契約適正化に向けた取り組み、法改正を踏まえた今後の課題等について深く学んだ。

県内外約100人の関係者が参加したセミナーでは、国土交通省港湾局から染矢康弘港湾事業監理官3氏が、城山観光ホテルで

第59回 日港連セミナー



鹿屋肝属電気設備協組総会
地元業者優先の陳情を

ドホテルで17年度通常総会を開き、地元業者優先育成の陳情活動、組合員の団結と過当競争の排除など盛り込んだ新年度事業計画等を執行部原案通り可決承認した。任期満了に伴う役員改選では山形理事を再選。総会後、松下昭敏国土交通省大隅河川国道事務所電気通信課長と七呂裕次郎県鹿屋土木事務所建築課長の講話もあった。

冒頭、山形理事長が「当市街地再開発の案件競争の排除など盛り込んだ総会―鹿屋市の大隅―」と題して、黒川ランドホテルで



県法面工事業連合会安全大会
自主的活動の定着を

は同局海岸・防災課の梶原康之海岸企画官が、過去の地震発生状況をもとに「今後の津波対策の方向性」について触れたほか、関係者は本県における港湾空港事業の概要等について話した。

安全活動の重要性を再認識した大会―鹿児島市の市民文化ホールで

安全活動の重要性を再認識した大会―鹿児島市の市民文化ホールで

安全活動の重要性を再認識した大会―鹿児島市の市民文化ホールで



鹿島建設鹿児島営業所等安全大会

予測・予防に徹した活動を

鹿島建設九州支店鹿児島営業所(吉次文夫所長)とその協力会社で構成する共生会(林民郎会長)は16日、鹿児島市の「かごしま県民交流センター」で2005年度安全大会を開き、約40人が参加した。この日は、安全意識を高め、予測・予防に徹した活動を推進することを再確認した。

大会では冒頭、梅田貞夫鹿児島建設社長が「安全は我々の生命線。安全意識を高め、予測・予防に徹した活動を推進することを再確認した。」と挨拶。



太田機工中古展示会
ハウス中心に品揃え

太田機工(株)(上山武俊社長)の中古車が16日から3日間の日程で、串木野市の串木野営業所(所長・東郷章営業部長)で開催。開催前からユニットハウス2棟の注文もあり、好スタートを切った。串木野地区での開催は2年ぶり。

東郷部長は、「今回はユニットハウスや仮設トイレ等の特価販売に力を入れている。春に開いた川内地区の第一歩なのではないかと考えられます。今後安全に対する意識を高め、予測・予防に徹した活動を推進することを再確認した。」と挨拶。

引き続き、原田講一安全課長が安全衛生重点施策などを説明した後、池田俊昭顧問が安全講話。鹿児島地域産業保健センターの橋口良弘氏が熱中症対策などについて衛生講話を行った。



多目的な設計にも対応

ニチベイ新商品発表会

多目的な設計にも対応

きょうまで

会場には、ワンコード式で操作・安全性に優れた多目的な設計にも対応したロールスクリーン「ソフィー」や、レースカーテンとドレープカーテンの両方が使用できるブラインド、静音タイプのA Cモーターを採用した電動シェード等を展示。オリジナルのデザインが可能なインクジェットプリントのロールスクリーン等にも注目が集まった。

多くの来場者、同社の野沢九州支店長は「多様化する顧客ニーズにいかに対応していくかが大切。今後、時代がマッチした商品開発に努めていきたい」と話した。



自動振替でお支払い
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ